

DVを支えているもの



ねらい

- ドメスティック・バイオレンス (以下「DV」という。) に関する神話や二次被害について知る。
- DVが当事者間の問題だけでなく、周りの意識や制度など暴力を支えている構造の問題があることに気づく。
- 暴力を支えることをやめるとはどういうことか考える。

キーワード

二次被害、DV神話 (間違った思いこみ)
社会構造、ジェンダー

準備物

- ワークシート1・2 1人1枚
- 共通資料(P27)と資料 1人1枚
- ホワイトボードと専用マジック

プログラムの流れ

| | | |
|-----|------------------------|---|
| 5分 | ① 導入 | • 安全な場にする責任を確認する |
| 10分 | ② ウォーミングアップ | • 2種類の「なぜ」について体験してみる |
| 40分 | ③ 二次被害はなぜ起きる? | • 二次被害発言を手がかりにDVを支えている構造を知る |
| 20分 | ④ 断ち切る「なぜ」から、つながる「なぜ」へ | • 想像力や情報を使って、つながること(=暴力を支えるのをやめること)を考えてみる |
| 15分 | ⑤ まとめ | |

| 時間 | 実際の詳細な手順 | ポイント |
|------|--|---|
| スタート | <h3>1 導入</h3> <p>5分</p> <p> 最近は「DV」という言葉もずいぶん浸透してきました。しかし、DVが個人的な事件であると思われていたり、被害者の気持ちや行動が理解されず二次被害が繰り返されたりするなど、表面的な理解しかされていないところもあるのではないのでしょうか。今日はDVが当事者間だけの問題ではなく、それを支えている社会の構造について考え、暴力を支えるのをやめるために一人ひとりができることを考えてみたいと思います。</p> | <ul style="list-style-type: none">• DVとは、「配偶者や恋人など親密な関係にある、又はあつた者から振られる暴力」である。「配偶者からの暴力防止及び被害者の保護に関する法律」においては、被害者を女性には限定していないが、配偶者からの暴力の被害者は、多くの場合女性である(P25資料参照)。参加者の層によっては、このことを最初に押さえておく必要がある。※暴力とは、身体的なものだけでなく心身に有害な影響を及ぼす言動なども含む。詳しくはP33~35参照。 |



今回は、一方的な講座ではなく一緒に考え話し合いながら進めていきます。話し合いのルールは「参加・守秘・尊重」です。

●「安全な場にするために ・参加 ・守秘 ・尊重 」と板書



DVは身近な問題です。内閣府の調査では、約3人に1人の女性がDV被害を経験していることがわかっています。ということは、ここに○人の当事者の方がいるとも考えられます。そのことも意識しながら、一人ひとりがこの場を安全な場にすることに責任を持って参加してください。また、今日は個人の体験を話したり、解決を考えたりする場ではなく、DVを支えている周りの意識や制度など、社会構造への理解を深めるという趣旨であることを理解しておいていただきたいと思います。

- P69を参照して、ルールについて詳しく伝えるのもよい。
- この場で参加者が傷つくような状況を防ぐため、参加者一人ひとりにも責任があることを押さえておく。また、当事者の安全でない自己開示を避けるためにも、趣旨を強調する。それでも、個人の体験を詳しく話し出す人がいたら、今回は個人を癒す場としては設定していないこと、具体的なことは後ほど事例を通して考える時間を用意しているので、それで考えていくことを説明し、適切な介入を行う。
- 安心して参加できる雰囲気づくりをするために、「いろいろなことを思い出してしんどくなりそうな時には、無理に参加し続けなくていい、退室する、発言しない、寝る(?)など自分を大切にしている行動をしてください」というコメントを加えてもよい。

- 隣の人、前後の席の人など、ファシリテーターがグループになるのを手伝う。

- ファシリテーターは、どんな雰囲気つかんでおく

- 参加者の反応も聞き、やりとりしながら進める。

5分
経過

2 ウォーミングアップ

2分



ウォーミングアップから始めます。3人1組になってください。これからまず1人が、1分間「最近失敗したこと」を話してください。あまり深刻でない失敗談にしてください。聞き手(2人)は、ところどころで「なぜ○?」という質問だけをしてください。では始めてください。

3分

●1分経ったら合図し、交替してもらおう。

5分



いかがでしたでしょうか。「なぜ?」と聞かれてどんな気持ちになりましたか。おそらく気持ちのいい「なぜ?」とそうでない「なぜ?」があったのではないのでしょうか? 何が違ったのでしょうか?



「なぜ」という言葉には、「なんでそんなことしたの?!」というその人を責めたり、非難したりするもの、「もっとあなたのことを知りたい」というつながりを示すものがあると思います。非難の意味で使う「なぜ」は二次被害になる場合があります。

15分
経過

3 二次被害はなぜ起きる?

グループ分け、ワークシート1配付、説明5分



DVはよく個人的な問題にされてしまいがちですが、実は、DVを助長し、支えている構造があります。そして、その構造の構成員として私たちがいます。今回は、その構造を知るにあたって、まず「二次被害」発言を手がかりに考えていきたいと思っています。「二次被害」とは、誰かに話したときに、話した人が、それでまた傷つけられる、辛くなってしまうといった経験です。

ワークシート1を見てください。

●Aさんの相談を読み上げる。誰かに読んでもらってもいい。

個人作業 5分



それでは、まず個人で、Aさんが周りに相談したとき、よくありがちな発言を考えて吹き出しに書いてみてください。5分時間をとります。

グループワーク 10分



グループで、どんなことを考えたか共有してください。

発表と説明20分



まずは「Aさんの母」から聞いていきたいと思います。このグループではどんな意見が出ましたか？ はい、ありがとうございます。では「Aさんの母」の発言について他の意見が出されたグループはありましたでしょうか？ では「夫の親」については、このグループに答えてもらいましょう。

●どのような意見が出たか、グループをまわって質問する。

●ポイントを絞って板書する。ワークシート2を配付する。



ワークシート2の「DV神話と実態」を見てください。これはDV神話(=DVについての間違った思いこみ)の代表的なものです。今まであげてもらった発言はだいたいこれに集約されると思います。二次被害は、DV神話を信じていて、それに基づいてなされる発言だといえます。また、ジェンダーへのとらわれも大きく関係します。共通資料を見てください。

●共通資料を配付し、読み合わせる。

●コラムを配付する。



このようにDV神話は、社会的な問題であるDVを正当化や軽視したり、被害者の責任にし、DVの本質的な問題や社会の構造を見えにくくさせたり、被害者を孤立させたりする働きをしています。

•最終的には、全体を通してすべてのグループから発言してもらえるよう配慮する。

4

断ち切る「なぜ？」からつながる「なぜ？」へ

説明 5分 グループワーク15分



代表的な二次被害発言「なぜ離婚しないの？」で詳しく考えてみましょう。最初にウォーミングアップでやった2つの「なぜ」を思い出してください。二次被害発言での「なぜ離婚しないの？」は、「本当にいやだったら離婚するはず」「離婚しないあなたにも責任がある」と非難し、拒絶を表す「なぜ」になっています。これをつなげる「なぜ」にしていきましょう。



つながる「なぜ」は、想像力や情報を使いながら、自分の頭で考えてみることから始まります。今からグループで話し合いながら、ワークシート2の2番をやっていきます。先ほどのグループで、Aさんがなぜ離婚しない(できない)のかを考え、理解しようとしてみてください。その上で、Aさんとつながるためにどんな言葉を投げかけたらいいかを考えてみてください。

5 まとめ

15分



どんな話し合いになったでしょうか。1グループ30秒以内で発表してください。

●各グループから発表してもらおう。



もちろん、最終的にどう行動するかを決めるのは当事者です。でも、それは「あなたのことだから私には関係ない」という態度とは違います。

最後に、これまで考えてきたように社会にはDVを支える構造があります。それ故に、社会の責任として解決していく必要があるのではないのでしょうか。たとえば、被害を受けている女性が安心して生きていくことや回復していくための社会的な支援システムが必要です。

そして、DVを支える構造を変えていくためにも、まず、その構造を構成している私たちが被害者を孤立させない、DVを支えることから降りることが大切です。その一歩、断ち切る「なぜ」から「つながり続ける」ということをこの学習をきっかけに考えてみてください。